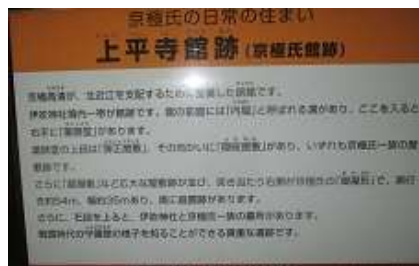


2022,8,7

伊吹山上平寺コースから5合目 トレッキング記録

上平寺コースは緑陰コースだが。暑い日で汗が滝のようにあふれ、「暑いね・・・」の連発・・・。5合目の広場の木陰で昼食にしました。少し、ゆっくり注意しなければならない所が3か所ほどありましたが、無事通過。新コースでいつものコースとは違う歴史・自然を満喫しました。京極氏の館・山城も初めて見学、これを機になお一層、京極氏について研鑽したいと思います。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史



京極氏と上平寺

上平寺には、北近江の戦国大名、京極氏が築いた館跡(日常の住まい)と、館跡(本丸)の跡が残っています。また、この館跡(館跡)の跡には、戦国時代中期、上平寺城(上平寺館跡)が築かれました。

京極氏は、織豊時代中ごろに備前守の京極伊尹・茂井・藤田・上平・近江・尾花を合わせた京極氏(京極氏)を名乗ったと知られます。室町時代に入ると、京極氏が備前守中興(中興)の本拠地(本拠地)として、京極氏の本拠地(本拠地)として知られます。

比叟(比叟)は、本拠地(本拠地)の跡(跡)として知られます。これと合わせて、館跡(館跡)の跡(跡)として知られます。

大永(大永)五(五)、京極氏(京極氏)が、館跡(館跡)の跡(跡)として知られます。

その際、北近江では、小幡(小幡)の跡(跡)として知られます。京極氏も、館跡(館跡)の跡(跡)として知られます。京極氏も、館跡(館跡)の跡(跡)として知られます。

上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。

上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。

上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。

上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。上平寺(上平寺)は、伊吹(伊吹)の跡(跡)として知られます。

◆トレッキングの様子



←京極氏が築いた山城で、東西50m×南北300mの規模を持つ。本丸の南に二の丸・三の丸があり、土塁や堀切がある。



上平寺城本丸跡にて



5合目 広場にて昼食



記念撮影



下山は往路を戻る。岩場を下る
お疲れさまでした。